

- 問1 鎌倉時代に琵琶を弾きながら、平氏の栄枯盛衰を語り歩いた軍記物語を何という？
- 問2 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒をめざして挙兵し、幕府軍に鎮圧された「承久の乱」が起こったのは何年？
- 問3 踊り念仏を広めながら全国を巡る一遍の様子が描かれている絵巻物を何という？
- 問4 1232年に日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
- 問5 鎌倉時代後期に時宗を開き、全国を回りながら布教活動を行った僧は誰？
- 問6 鎌倉幕府が京都の監視や西国の統治を目的として設置した機関を何という？
- 問7 平氏の栄枯盛衰を描き、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語を何という？
- 問8 将軍と御家人の関係において、御家人が果たすべき最も重要な任務の一つである、戦いに参加する義務を何という？
- 問9 イタリア出身の旅行家で、フビライ・ハンに仕え、日本を『黄金の国ジパング』としてヨーロッパに紹介したのは誰？
- 問10 東大寺南大門に安置されており、運慶と快慶らによって制作された力強い木造彫刻を何という？
- 問11 元を訪れ、その見聞を記録として残したイタリアの商人は誰？
- 問12 承久の乱において、倒幕を狙って挙兵した上皇は誰？
- 問13 元軍の再襲来に備えて鎌倉幕府が博多湾の沿岸に築いた、石造りの防壁を何という？
- 問14 源氏が平氏を滅ぼした最後の決戦が行われた場所はどこ？
- 問15 元寇の際、二度にわたる暴風雨によって元軍が退却したことから、日本を守ったとされる信仰を何という？
- 問16 源頼朝が御家人たちに与えた、土地の領有権を認めたり保証したりする権利を何という？
- 問17 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の支配に抵抗し、武力を行使して社会を混乱させた勢力を何という？
- 問18 マルコ・ポーロが見聞をまとめて出版し、日本を「黄金の国ジパング」として紹介したことで知られる著書を何という？
- 問19 鎌倉時代後半、分割相続によって領地が細分化し、経済的に苦しくなった状態を何という？
- 問20 鎌倉幕府の中央に置かれた主要な機関で、政所や侍所と並び、裁判などを担当した組織を何という？
- 問21 鎌倉時代、税として年貢が徴収されていた土地の種類を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 平家物語	平家物語は、平清盛をはじめとする平氏一族の栄華とその滅亡を描いた文学作品です。「祇園精舎の鐘の声…」という有名な書き出しで始まり、武士の戦いぶりや人生のはかなさが強調されています。文字が読めない人も多かった当時、琵琶法師が日本全国を回り、琵琶の伴奏とともに節をつけて語ることで広く普及しました。
問2	答え 1221年	1221年、後鳥羽上皇が中心となって起こしたのが承久の乱です。これに対し、幕府は北条政子の演説で御家人を結束させ、京都へ軍勢を送りました。幕府軍の勝利は、それまで優位であった朝廷が武家に完全に屈服したことを意味しました。
問3	答え 一遍上人絵伝	一遍上人絵伝は、時宗の開祖・一遍が各地を巡り、踊り念仏を広めて多くの人々に救済を説く姿を描いています。当時の風景や服装、人々の様子が細部まで克明に描写されているのが特徴です。
問4	答え 北条泰時	北条泰時は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の道理に基づいた最初の法律であり、裁判の公平性を担保する役割を担いました。
問5	答え 一遍	一遍は「時宗」を開き、踊り念仏を行いながら全国各地を巡りました。彼は特定の寺院に留まらず、諸国を旅しながら念仏の札を配ることで、階層を問わず多くの民衆に浄土への信仰を説きました。
問6	答え 地方行政機関	1221年に六波羅探題が置かれ、そこには北条氏の一族が就任しました。単なる軍事施設ではなく、朝廷との交渉、京都の治安維持、西国の御家人の統率といった行政・司法の役割を担いました。
問7	答え 平家物語	『平家物語』は、平氏一族の栄華から壇ノ浦での滅亡までを描いた文学作品です。「祇園精舎の鐘の声」という有名な書き出しで始まり、無常観あふれる物語として広く親しまれました。盲目の琵琶法師が琵琶を奏でながら語り伝える形式で広まったため、多くの人々に愛唱されました。
問8	答え 軍役	御家人の重要な義務が軍役です。これは将軍から命じられた戦場に馳せ参じ、自ら武具を揃えて戦う義務のことです。これに加え、京や鎌倉を警備する番役などの奉公がありました。これらを通じて、御家人は自分の領地を守り、主君からさらなる恩賞を得ることを目指しました。
問9	答え マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロはベネチアの商人・旅行家で、元のフビライ・ハンに長く仕えました。帰国後に執筆した『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。これを見たヨーロッパの人々は、海路によるアジアへの関心を高めることとなりました。
問10	答え 金剛力士像	金剛力士像は、阿形（あぎょう）と吽形（うんぎょう）の二体で構成される巨大な仏像です。寄木造という技術を用い、筋肉の盛り上がりや表情に至るまで、極めて現実的で力強い表現がなされています。これは当時の武士たちの気風を反映したもので、鎌倉文化の代表作です。
問11	答え マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロは父親らと共にヴェネツィアを出発し、数年かけてモンゴル帝国の都である大都に到着しました。彼は約17年間フビライ・ハンに仕え、中国全土を巡察して貴重な情報を得ました。帰国後に執筆された『東方見聞録』では、東洋の富の凄まじさや、日本の存在について詳細に記しました。
問12	答え 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、全国の武士に呼びかけて幕府打倒を試みました。しかし、北条政子の演説により結束した幕府軍の前に敗北しました。
問13	答え 防塁	幕府は北九州の御家人たちに命じ、博多湾の海岸沿いに石造りの長い防壁を築きました。これが「防塁」です。元軍の上陸を困難にさせる防御施設であり、当時の武士の軍事動員体制を示す重要な遺構です。
問14	答え 山口県下関市	1185年、現在の山口県下関市にあたる壇ノ浦で、源義経率いる源氏軍と平氏軍が激突しました。この戦いは海戦で行われ、幼い安徳天皇を連れていた平氏は敗北し、一族の多くが滅亡しました。
問15	答え 神風	1274年の文永の役、1281年の弘安の役のいずれにおいても、暴風雨により元軍の船が沈没し、撤退を余儀なくされました。人々は、これを天が日本を守るために吹かせた特別な風であると信じ、「神風」という考え方が広まりました。
問16	答え 御恩	「御恩」とは、将軍が御家人に対して本領の安堵（土地の支配権を認めること）や、新しい領地の供与を行うことです。これに対して御家人は「奉公」という軍役や警備の義務を負いました。
問17	答え 悪党	彼らは「悪党」と呼ばれ、有力な武士や農民などが混在した武装集団でした。法や権威に縛られず、独自の論理で武力を行使する存在でした。
問18	答え 世界の記述（東方見聞録）	帰国後に獄中で語った内容が記録され、出版されたのが『世界の記述（東方見聞録）』です。この書物には、当時の中国の繁栄や日本の富について書かれており、ヨーロッパの人々にアジアへの関心を抱かせました。
問19	答え 困窮	限られた土地からの収穫だけでは、幕府への奉公や軍役の準備、生活費を賄うことが困難になり、多くの御家人が借金をして苦しい生活を送るようになりました。
問20	答え 問注所	問注所は、鎌倉幕府の中央機関の一つで、主に御家人の訴訟や裁判、書類の管理を担当しました。侍所が軍事・警察を、政所が一般政務を担当したのに対し、問注所は法律に基づく冷静な判断を行う機関として、幕府の権威を高める役割を果たしました。
問21	答え 荘園	荘園は、貴族や有力な寺社などが所有する土地で、そこから上がる収益が当時の支配階級の重要な経済源でした。鎌倉幕府が成立すると、幕府は各地の荘園にも「地頭」を配置し、年貢徴収や管理の権限を握りました。これにより、それまでの公領（朝廷直轄地）と並び、武士の支配対象となりました。